

第2フェーズ終了報告会

ユネスコ文化遺産保存日本信託基金による国際協力活動

世界遺産 アンコール遺跡の解明はどこまで進み、 今後何をすべきか

アンコール遺跡救済プロジェクト経過10年半の軌跡

1994年より世界遺産アンコール遺跡の救済活動を行ってきましたが、2005年4月、本プロジェクトの第2フェーズを無事に終了することができました。長年に渡りご支援頂きました多くの皆様に、アンコール遺跡救済活動の成果報告会を実施致します。

- 日時** 2005年10月8日(土)
- 場所** 早稲田大学理工学部55号館1階 大会議室
- 定員** 200人
- 参加費** 報告会500円 懇親会1000円 ※どちらかのみのご参加も可
- 申込** JSA 広報部門
FAX 03-5286-3144
E-mail info@angkor-jsa.org
お名前、参加人数、ご所属、ご住所、お電話番号を明記の上、FAX または E-mail にてお申し込み下さい。(当日参加可)



プログラム 15:30 受付開始 16:00 開会

16:00-16:15 あいさつ、JSA 第1フェーズ、第2フェーズ総括(中川武 JSA 団長 / 早稲田大学理工学部教授)

16:15-16:20 竣工記念式典報告(小野邦彦 JSA 広報部門長 / 早稲田大学理工学総合研究センター)

保存修復工事報告

16:20-16:35 プラサート・スープラ 保存修復工事報告(赤澤泰 JSA シェムリアップ事務所前所長 / 株式会社鴻池組)

16:35-16:50 アンコール・ワット北経蔵 保存修復工事報告(土屋武 JSA アンコール・ワット現場責任者 / 早稲田大学理工学総合研究センター)

16:50-17:00 休憩(10分間)

『バイヨン寺院全域の保存修復のためのマスタープラン』からの報告

17:00-17:10 バイヨンマスタープランの策定とその背景(江口千奈美 JSA 建築班 / 早稲田大学理工学総合研究センター)

17:10-17:20 [ビデオ] バイヨンデジタルアーカイブ化プロジェクト(東京大学池内研究室製作)

17:20-17:40 バイヨンの寸法分析による建築学調査報告(溝口明則 JSA 副団長 / 東京家政学院大学助教授)

17:40-17:55 バイヨンの岩石学調査報告(内田悦生 JSA 岩石班班長 / 早稲田大学理工学部教授)

17:55-18:10 バイヨンの微振動調査報告(前田寿朗 JSA 修復設計班 / 早稲田大学理工学部教授)

18:10-18:30 バイヨン中央塔の恒久的保存対策(岩崎好規 JSA 地盤地質環境班班長 / (財)地域地盤環境研究所常務理事)

18:30 閉会 18:40-19:40 懇親会

※会場にて、過去のアンコール遺跡調査報告書を無料配布致します。在庫に余裕のある年度のみで、なくなり次第終了とさせていただきますので、予めご了承下さい。また、ご希望の方はお持ち帰り用の袋などご持参下さいますようお願い致します。着払いの伝票もご用意致しますので、宜しければご利用下さい。



■会場ご案内

JR/西武新宿線 / 東西線
高田馬場駅下車 徒歩約13分
早稲田大学理工学部55号館1階